

信大の行列の問題の元

教育前期 行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ は零行列ではなく、 A^2 が零行列となるとする。次の問に答えよ。

- (1) $a + d = ad - bc = 0$ を示せ。
- (2) 行列 A が表す一次変換によって、座標平面上の原点と任意の点 P, Q は同一直線上に移ることを示せ。

理学部後期 s, t を定数とする。点 $P(1, s)$ を、行列 $A = \begin{pmatrix} t - 2s & 1 \\ -s^2 & t \end{pmatrix}$ で移した点の座標を求めよ。
また、点 P を、行列 A^5 で移した点の座標を求めよ。

医学部前期 座標平面上に、一直線上にない3点 $O(0, 0), P(a, b), Q(c, d)$ がある。
点 P, Q は、行列 $\begin{pmatrix} 1 & m-1 \\ m & 1 \end{pmatrix}$ によってそれぞれ点 P', Q' に移され、
3点 O, P', Q' も一直線上にないとする。

- (1) OPQ の面積 S が $S = \frac{1}{2}|ad - bc|$ で与えられることを証明せよ。
- (2) $OP'Q'$ の面積が OPQ の面積より大きくなるような定数 m の範囲を求めよ。

医学部後期 行列 A を次のように定める。

$$A = \frac{1}{15} \begin{pmatrix} 37 & 16 \\ 16 & 13 \end{pmatrix}$$
 また、直線 $l: y = \frac{1}{2}x$ 上にない点 $P(a, b)$ を、行列 A^n で移した点を P_n とする。
点 P_n と直線 l との距離 d_n を、 a, b, n の式で表せ。ただし、 n は自然数とする。

すべて、計算で示す計算量もほどほどのいい問題ですが、答だけなら固有値の知識から以下のように明らかです。行列の分類参照。

教育 $A^2 = (a + d)A - (ad - bc)E = O$ ($b = c = 0$ とすると $a = d = 0$ となり A が零行列になって矛盾) より $a + d = 0, ad - bc = 0$

固有値 0 (重複度 2) なので全平面を一直線 ($ax + by = 0$) につぶし、2回やるとその直線が原点につぶれる変換。

理学部後期 別に計算すればいいんだけど、固有値は $t - s$ 重複度 2 で、固有ベクトルが $\begin{pmatrix} 1 \\ s \end{pmatrix}$

だから $A(1, s) = (t - s) \begin{pmatrix} 1 \\ s \end{pmatrix}, A^5(1, s) = (t - s)^5 \begin{pmatrix} 1 \\ s \end{pmatrix}$

医学部前期 これも (1) から (2) へと計算でこれを示す問題だが、1辺1の正方形を面積が行列式倍の平行四辺形に移すのだから、 $|1 - m(m - 1)| > 1$ を解けばよい。で、 $m < -1, 0 < m < 1, 2 < m$

医学部後期 この行列の固有値は $\frac{1}{3}, 3$ 、それぞれ対応する固有ベクトル $\begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}$

直線 l というのは固有ベクトル $\begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix}$ を含んだ直線で、

この上にない点 P は、もう一つの直交する固有ベクトル $\begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix}$ にそって、 $\frac{1}{3}$ 倍される。

つまり、求める $d_n = \left(\frac{1}{3}\right)^n d_0 = \frac{|a - 2b|}{\sqrt{5} \cdot 3^n}$

行列も $\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ -2 & 1 \end{pmatrix}^{-1} A \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ -2 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{1}{3} & 0 \\ 0 & 3 \end{pmatrix}$ から

$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ -2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \frac{1}{3} & 0 \\ 0 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ -2 & 1 \end{pmatrix}^{-1} = \frac{1}{15} \begin{pmatrix} 37 & 16 \\ 16 & 13 \end{pmatrix}$ と作ったかな。

この行列も目で見ておこう。

